

<<評価基準>>
 A:目標を達成することができた(100%以上)
 B:目標を概ね達成することができた(80～99%)
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30～79%)
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
 E:未実施(0%)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	令和6年度		実績	目標及び評価				評価
		目標	実績		6年度	7年度	8年度		5年度
1. 地域の経済動向調査	(1)地域の経済動向分析の公表回数	1回	2回	「RESAS」を活用した地域の経済動向分析を行い、分析結果を計画策定支援に活用した。創業相談5者。経営革新計画承認2者。	A	1回	1回		A
	(2)景気動向分析の公表回数	2回	7回	物価高騰エネルギー調査及び中小企業景気動向調査を活用し実施した。管内事業者等への周知方法は、ホームページ公表ではなく、事業計画策定時の必要な情報として提供した。創業セミナー及び金融個別相談企業に活用した。	A	2回	2回		A
2. 需要動向調査	(1)自店舗を活用したニーズ調査対象事業者数	3者	36者	飲食36店舗を中心に10月1日から11月30日まで実施。	A	3者	3者		A
	(2)商談会、物産展でのバイヤーニーズ調査対象事業者数	3者	4者	6月に開催された「いわて食大商談会」に4者出展。試飲、試食の提供により、商品改良(見た目、内容量など)の検討につながる場となった。	A	3者	3者		A
	(3)イベントを活用したニーズ調査対象事業者数	3者	8者	10月に開催された「いわて酒ノ宴2024inもりおか」に3者、11月に宮城県で開催された「盛岡広域物産フェア」に5者出展。矢巾町主催の春まつり(食品製造業者1者)、秋まつり(飲食業者2者、小売業者1者)に出店。味の評価などを行い、商品の改良等に活用した。	A	3者	3者		A
3. 経営状況の分析	(1)経営分析事業者数	40者	57者	事業計画策定事業者数9者、事業承継検討事業者20者、金融あっせん28者を対象に実施。	A	40者	40者		A
4. 事業計画策定支援	(1)DXセミナーの開催	3回	6回	5月と9月にキャッシュレス導入個別相談会(11者)、9月にECサイト開設支援セミナー(1者)、10月にBCPセミナー(10者)を開催し、11月にSNS広告セミナー(11者)、1月にChatGPTセミナー(11者)を開催し、AI活用方法やDXの基礎知識の習得等について意識付を行った。また、災害時に備えたクラウド活用法などの周知を図った。	A	3回	3回		A
	(2)事業計画策定個別相談会の開催	3回	10回	8月に経営革新計画策定に伴う個別相談会(3者)、7月～3月金融個別相談会(25者)を開催し、事業計画策定について指導した。	A	3回	3回		A
	①事業計画策定事業者数	20者	37者	経営状況の分析を行った小規模事業者57者に対して経営革新計画承認申請(2者)、経営力向上計画(1者)、先端設備導入計画(1者)、岩手県中小企業者等賃上げ環境整備補助金(5者)、金融あっせん業者(28者)に向けて事業計画を策定。	A	20者	20者		A
	②創業計画策定事業者数	3者	10者	個社支援により10者(サービス業5者、飲食業3者、小売業1者、菓子製造1者)の創業計画策定。7者は開業。創業希望者向けの集団セミナーを8月に3回開催(出席者は14名)。	A	3者	3者		A
	③事業承継計画策定事業者数	5者	20者	事業引継支援センター等と連携し20者(建設業7、小売業4、飲食業4、サービス業5)を支援中。	A	5者	5者		A
5. 事業計画策定後の実施支援	(1)事業計画策定事業者								
	①フォローアップ対象事業者数	20者	37者	事業計画策定した37者を対象にフォローアップを実施。	A	20者	20者		A
	②頻度(延べ回数)	100回	148回	訪問回数は1者あたり月に2回程度、進捗状況を見ながら、随時フォローを実施。(37者×約4回)	A	100回	100回		A
	(2)事業承継計画策定事業者								
	①フォローアップ対象事業者数	5者	20者	事業計画策定事業者20者を対象にフォローアップを実施。	A	5者	5者		A
	②頻度(延べ回数)	20回	20回	半年に1回を基準に実施。	A	20回	20回		A
	(3)創業計画策定事業者								
	①フォローアップ対象事業者数	3者	10者	創業計画策定事業者を対象にフォローアップを実施。	A	3者	3者		A
	②頻度(延べ回数)	18回	42回	4半期に1回を基準に実施。	A	18回	18回		A
	(4)売上・利益の増加目標								
	①売上増加事業者数	8者	9者	決算期で把握:事業計画策定事業者37者のうち、9者が増加	A	8者	8者		A
	②営業利益率1%以上増加事業者数	4者	5者	決算期で把握:事業計画策定事業者37者のうち、5者が増加	A	4者	4者		A

<<評価基準>>
 A:目標を達成することができた(100%以上)
 B:目標を概ね達成することができた(80～99%)
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30～79%)
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
 E:未実施(0%)

事業	項目	令和6年度		実績	目標及び評価				評価
		目標	実績		6年度	7年度	8年度	0	5年度
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業	(1) 地域密着型商談会								
	①町内大型スーパーマーケット商談会参加事業者・成約数	3者 (1者)	0者 (0者)	大手スーパー(矢巾町初出店)と協議中	D	3者 (1者)	3者 (1者)		D
	②いわて食の大商談会参加事業者・成約数	3者 (1者)	4者 (1者)	いわて食の大商談会に食品製造業者(4者)が出展した食品製造業者1者はバイヤーと成約。	A	3者 (1者)	3者 (1者)		B
	(2) イベントを活用した地元消費者等を対象としたテスト販売事業者・売上額	3者 (3万円)	5者 (80.4万円)	10月に開催した矢巾町主催「秋まつり」に飲食業3者、宿泊業1者、製造業1者が出店。季節の新品などを出店。売上は、飲食業者は52.2(29+10+13.2)万円、宿泊業者は22.1万円、製造業者は6.1万円であった。	A	3者 (3万円)	3者 (3万円)		A
	(3) SNS活用事業者・売上増加率	4者 (5%)	4者 (5%)	事業計画内容にSNS活用を目標にした事業者に対して支援を行った。	A	4者 (5%)	4者 (5%)		A
	(4) 大手ECサイト利用事業者・売上増加率	2者 (5%)	2者 (6%)	事業計画内容にECサイト利用を目標にした2事業者(飲食業)に対して、専門家を派遣し知識習得を図り、売れる商品を検討し、矢巾町のふるさと納税(楽天、ANA、ふるなび)にも出品(2商品)。	A	2者 (5%)	2者 (5%)		A
	(5) 自ら運営するネットショップ開設者・売上増加率	2者 (5%)	1者 (5%)	事業計画内容に自社ネットショップ開設を目標にした1事業者に対して、専門家を派遣し知識習得を図った。開設に当たっては、専門業者に依頼し計画的に実施した。飲食業1者。	C	2者 (5%)	2者 (5%)		A

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	令和6年度		実績	目標及び評価				評価
		目標	実績		6年度	7年度	8年度	0	5年度
7. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1) 経営発達支援事業評価委員会の開催数	2回	2回	4月に昨年度評価及び12月に今年度事業取り組みについて委員会を開催。	A	2回	2回		A
	(2) 評価結果の公表	1回	1回	評価結果を矢巾町商工会ホームページに掲載し周知を図る。	A	1回	1回		A
8. 経営指導員等の資質向上等	(1) 岩手県商工会連合会研修会等	1回以上	5回	岩手県商工会連合会主催の研修会参加により基礎知識及び専門知識の習得を図り、日々の会員への経営指導に生かしている。(職種別研修、人材育成研修)	A	1回以上	1回以上		A
	(2) OJTの強化によるスキルアップ	12回	14回	毎月職員間の情報共有の場を図り、知識習得の場や会員支援に対する悩みを把握し、改善に努めている。また、事業計画策定については、個別相談会の際に経営指導員が帯同し、ヒアリング手法や計画作成の流れを指導しながら職員のスキルアップにつなげている。紫波町及び滝沢市商工会と連携し、若手職員のスキルアップ研修を開催。	A	12回	12回		A
	(3) 専門家派遣同行によるスキルアップ	10回	19回	販路開拓に向けた経営計画策定、業者間契約のポイント、就業規則のポイント、事業承継、法人化におけるポイントについて、専門家に帯同し、そのノウハウを学びスキルアップにつなげている。	A	10回	10回		A

総合評価
B